

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成11年6月1日発行
季刊第29号
キタムラホームページ
<http://www.kitamura.co.jp>

カメラの
キタムラ®

vol.29
SUMMER

特集 写真家・大山 謙一郎氏

人とは少しでも違う写真を撮る。
その工夫を常に忘れないでほしい。

田中長徳氏執筆 カメラはライカ 最終回

保存版 レンズ特集Ⅱ

祭りには静と動、両方の美しさがあり、どちらも女性を輝かせます。高知の「よさこい祭り」にて。

■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm 絞り：f2.8 シャッタースピード：オート フィルム：アスティア
撮影地：高知県高知市 (撮影) 大山 謙一郎氏



四季

CONTENTS Vol. 29 SUMMER

スローシャッターでブレを生かし、祭りのエネルギーを強調しました。
 ■カメラ：EOS-1N レンズ：70～200mm 絞り：f4.0 シャッタースピード：1/8秒 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア 撮影地：高知県高知市 (撮影) 大山 謙一郎氏



特集 写真家・大山 謙一郎氏

人とは少しでも違う写真を撮る。
 その工夫を常に忘れないでほしい。..... 2

大山 謙一郎先生が撮る「よさこい祭り」..... 10

カメラはライカ〈最終回〉

Mモデルのさらなる進化 田中長徳氏執筆..... 13

ぶらりわが街

静岡県清水市 望月正晴さん..... 18

増田勝正先生の

ペット動物写真 ワンポイントアドバイス..... 22

保存版 レンズ特集Ⅱ

チビッコ写真コンテスト 受賞作品誌上ミニ展覧会..... 16

第4回ペット・動物ふれあい写真コンテスト入賞作品発表!!..... 20

全国写真クラブ紹介..... 31

キタムラインフォーメーション..... 32

プレゼントが当たる! クロスワードパズル..... 32

編集後記..... 32

次ページ (P2・3) の写真解説/ソフトレンズの効果の小樽の夜景を夢幻なものに変えて、異国的で情緒的な風景写真になりました。
 ■カメラ：ペンタックスMZ-3 レンズ：28mm (ソフトレンズ) 絞り：f4.0 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：E200 撮影地：北海道小樽市 (撮影) 大山 謙一郎氏



Professional
TRUST

ハードな金属外装が実現した、信頼性というプロスペック。

ハイレベルな映像表現を目指す撮影者の厳しい要求に応じて、αシリーズのフラッグシップとして誕生したプロフェッショナル一眼、α-9。最高機種に求められる基本性能の高さは元より、撮影者の信頼に支え得る堅牢性と防塵防滴性、そして耐久性をハイレベルで融合させている。卓越した堅牢性を実現するために、高強度の特殊合金(SUS304)と高精度の亜鉛ダイキャストをそのボディにまとめた。さらに、カメラ本体の骨格とも言える前枠、そしてミラーボックスにはアルミダイキャスト、底面カバーと左サイドカバーには亜鉛ダイキャストを採用。この金属外装は、最高機種としての堅牢性と精度を確保するだけでなく、その高品位な質感は、かつての名機をも彷彿とさせる。また、防塵防滴性にも十分に配慮している。シャッターボタンなどのボタン類やダイヤル部は、水滴やほこりが入りにくい構造とし、縦位置コントロールグリップ用信号接点やリモートリリースターミナルは、カバーを設けた防塵設計を採用している。さらに、いつまでも高性能を発揮し続けるために、耐久性にも徹底的にこだわった。そのポイントとなるシャッターでは、約10万回に及ぶ耐久性

を確認。最高速1/12000秒を誇る高速シャッターはいつまでも信頼に支え続ける。900項目にも上る苛酷な品質チェックをクリアして、初めてα-9として撮影者の手に渡る。そして、手にした時に信頼感となって伝わってくる、最高機種にふさわしいその重量感。確かな信頼感に満たされながら、撮影者は深遠なイメージーション世界へとその感性を解き放つ。すべては、「最高の一枚」のために。

新発売

α-9

希望小売価格(税別)
 α-9ボディ..... ¥250,000
 AF50mmF1.4NEW..... ¥40,000
 縦位置コントロールグリップVC-9 ¥35,000





特集
写真家
大山 謙一郎氏



おおやま けんいちろう
1939年熊本県生まれ。1972年G・T・Sun等を経てフリーランスに。1977年より「大山謙一郎凝視展」のタイトルで写真展を続け、1998年現在で22回を数える。写真集に「光の中の少女」「MA FILLE」「潮風と少女」「少女から小悪魔へ」「ジュメル」「炎えた女」「戯れごと」。「日本カメラ」「アサヒカメラ」コンテスト審査委員、「フォトコンテスト」審査委員、全日本写真連盟関東本部委員、日本写真家協会会員。

人とは少しでも違う写真を撮る。
その工夫を常に忘れないでほしい。

季節は夏。海に山に、様々な撮影プランをお持ちの方が多いのではないのでしょうか。中には今年こそ素晴らしい作品をと、ひそかに狙われている方もいらっしゃるはず。今回ご紹介いたします大山謙一郎先生は、カメラのキタムラでは数々の撮影会でお世話になっておりますし、写真集も多く出版され、最近では高知の「よさこい祭り」を精力的に撮り続けるなど、その活動範囲も多岐に渡っています。また、個性的な写真展を開催されていることでも有名でいらっしゃいます。今回は大山先生の祭りや夏の写真を皆さんにご紹介するとともに、写真集では拝見することのできない、先生のユニークな写真展のお話をうかがい、そのオリジナリティあふれる作品制作の秘密を少しだけ教えていただきました。あるいは皆さんも先生の楽しいお話のうちに、今まではまったく異なる作品のアイデアをつかむことができるかもしれません。そして皆さんのフォトライフを少しでも豊かな、実り多いものにしていただければ……。それがカメラのキタムラの願いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて大山氏の作品です。



空もまた海の波と同じように、実に様々な姿を見せてくれます。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：17~35mmF2.8 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：アスティア



これは仕事の合間に撮ったもの。どこでシャッターチャンスに出会うかわかりません。だから私はいつもカメラを持っています。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：200mm F1.8 2倍テレコンバージョンレンズ 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：アスティア 撮影地：サイパン島



フランスのノルマンディ。モン・サン・ミッシェルの叙情的な景観です。
■カメラ：ペンタックスMZ3 レンズ：28mm F2.8 (ソフトレンズ) 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：ニプロピア 撮影地：フランスノルマンディ

さっそくですが、大山先生が写真を撮り出したのは、いつ頃からでしょうか？

郷里の熊本で、高校時代に好きな女の子がいて、その娘を撮って写真をあげたのが最初です。不純な動機ですね(笑)。その後、東京に出て日大芸術学部に入学したのですが、学費を稼ぐために、スタジオでアルバイトをしました。そのまま写真を撮り続けているわけです。

先生は写真家としてフリーランサーになられた後に、パリに行かれてますが、これはどのようなお考えだったのですか？

カメラマンとして広告会社に勤めていたときに、仕事でヨーロッパの各地に行きました。4X5やエイト・バイ・テンで、カメラに使う風景写真などを撮っていたんです。重いエイト・バイ・テンを35mmの一眼レフカメラのように使っていました。1日に何十枚も撮っていたんです。

そのときにパリはいいところだな、と思いました。ネクタイをしめずに仕事ができるような雰囲気がありました。ワインも飲めるし(笑)。それで会社を辞めてから、パリに行つたんです。

当時のパリは、ちょうど日本人のファッション・デザイナーの三宅一生さんや山本寛斎さんの名前が出始めた頃。日本の新進デザイナーがパリコレをされていて、そうしたファッション写真を撮っていました。パリッチもやりましたよ。吉永小百合さんが新婚旅行に来るといふ連絡を受けたので、空港で待っていました。それから、ずっと後を追っかけてたんです(笑)。

パリから帰ってこられた後、東京に事務所をかまえられたのですか？

そうですね。その当時は広告写真がほとんどで、時間を作っては自分の作品を写していました。

それで「凝視」という写真展を開き始めるわけですね。先生はその後、毎年この「凝視」という写真展を開き続けておられますが、そもそも写真展を開き始めたきっかけといいますと、どのような理由からなのですか？

写真展を開いた理由は、自分の名前を何とかみんなに知ってもらいたかったのと、自己主張もしたかったのです。そのためには写真展が一番いいと考えました。テーマも自分の自由になりますし、レイアウトも好きなようにできます。

最初の頃は借金をしてでも写真展を開いていました。

今でも写真展を続けているのは、ちょうどファッション・デザイナーが毎年コレクションを開くように、今年の私はこういう写真でいきますよ、という発表をしていきたいからなんです。発表していない作品がたくさんありますので、機会があったら、いつでも写真展を開きたいですね。

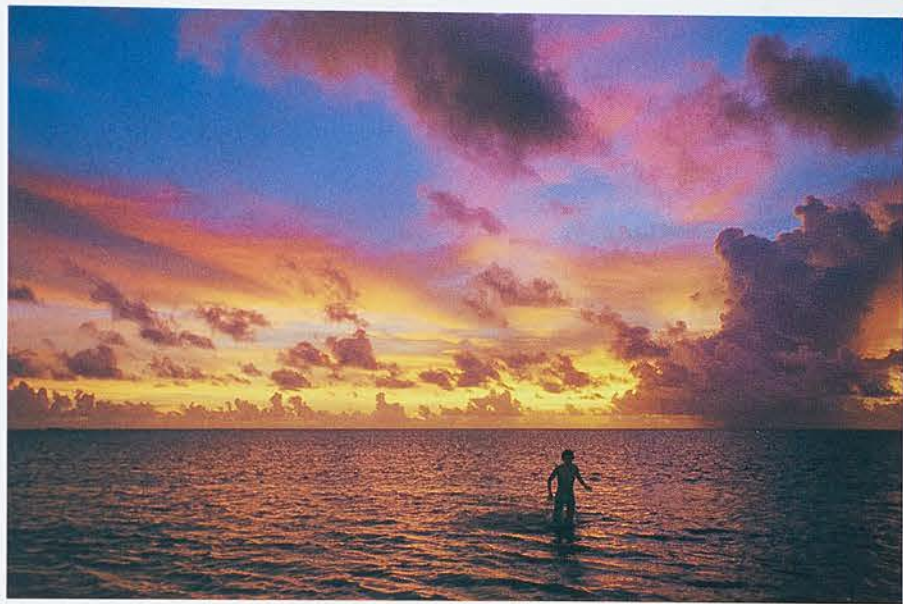
ただの写真展では面白くない。ちよつとした工夫で楽しくなるんです。

コンパクトカメラでも作品はできる。

先生は当初女性をテーマとした写真展を続けられた後、「葬儀」写真家を盗る」といった、それまでとは傾向の変わった写真展を開かれているのですが、これはどのような写真展だったのですか？

親戚が亡くなったときのことなのですが、ちょうど性能のいいコンパクトカメラが出た後だったので。普通、葬儀の場所というのは雰囲気からも、大きなカメラで撮影したりできません。その点、コンパクトカメラだと小さいので、遺族の表情などのいい写真が撮れたんです。このときに撮った作品で開いた写真展が「葬儀」ですが、この写真展の時は会場を薄暗くして、お経を流したんです。お線香を立てて、お客様にはご焼香をしていただいていたから入っていたいただきました(笑)。初日には知り合いがお葬式用の花輪を送ってきてくれたんです。一心、写真展を開いたお祝いですので、お葬式用の花輪に「お祝い」と書いてある。花屋さんが悩んでいました(笑)。

「写真家を盗る」もコンパクトカメラを使いました。写真は、ギャラリーで写真展を開く際に、初日にオープニング・パーティーを開きます。日頃はおとなしい写真家の方々も、パーティーでお酒が入ると変身するんです。その変身したところを約20



これはグアムの空。いったん沈んだかに見えた太陽が、もう一度輝きを取り戻す瞬間があるのです。これはその一瞬を撮ったもの。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：17~35mm F2.8 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：EB-2 撮影地：アメリカ グアム

波は岩場ばかりが美しいわけではありません。こんな不思議な波紋も描いてくれます。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：EPP

これはテキサスの空です。日本ではほとんど見ることのできない広大な雲の行進です。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：17~35mm 絞り：f11.0 シャッタースピード：オート フィルム：EPP 撮影地：アメリカ テキサス

0名分撮りためて写真展を開きました。

私は日頃からコンパクトカメラを持ち歩いています。今はAPSです。それで名刺をもらった方の写真を撮らせていただいて、後日、できあがった写真を皆さんに送っているんです。一眼レフを向けると皆さん緊張されるので、そういう場合はコンパクトカメラがいいんです。皆さんリラックスしてくれますから。

1枚では作品にならないものでも、何枚もたまると作品になる。

すると「写真家を盗る」の後で開かれた「高島平 INN」も、そうした楽しい写真展だったのですか？

集合住宅というのとはどこも間取りが同じですが、住んでいる家族構成とか、職業に

よって使い勝手が全く違うんです。そうした違いを写真で撮ってみたいと思ったのですが、撮るといって皆さん部屋の中をきれいに片付けてしまいます。そこでわざと20mmの広角レンズで撮るんです。すると全部見えてしまう。これを撮りためて写真展にしたのが「高島平 INN」です。
写真の下には撮った家の方の名前と出身地、結婚して何年になるのか、職業、今の

家の住み心地などを書き添えて並べました。1枚では作品として成立しませんが、それが何枚もたまると作品になるのです。

また、「好食365日」という写真展も開きました。これは私が1年間、毎日食べたものを全部撮ったものなのです。それをサービサイズでプリントしたのですが、普通はサービサイズはサイズに合わせて1枚1枚切ってしまう。それを切らずに続けてプリントしてもらいました。ですから1カ月で25mくらいの帯のようなプリントになります。それが12本あるんです。それを並べた写真展です。

琵琶湖。鳥の飛翔とソフトレンズとを組み合わせてみました。顔を写ると鳥はいくらでも飛んでくるので、焦らずシャッターチャンスが狙えます。
■カメラ：ペンタックスMZ3 レンズ：28mm F2.8 (ソフトレンズ) 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：EB2 撮影地：滋賀県琵琶湖



手前にずらりと並んでいるのは大根を干してあるのです。大根のバースと背景の山の稜線のバランスでまとめました。
■カメラ：ペンタックスMZ3 レンズ：28mm (ソフトレンズ) 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：アスティア 撮影地：鹿児島県指宿



雨上がりにカメラを持って家のまわりをよく歩きます。これはその時に撮った一枚。雨の滴が幻想的に見せてくれます。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：EB-2

沈みかけた太陽は強烈な光を投げかけてきます。動きのない水面を撮る場合は光を利用することを考えましょう。
■カメラ：ペンタックスMZ3 レンズ：28mm (ソフトレンズ) 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：EB-2 撮影地：滋賀県余呉湖





踊り手がライトに照らされたところを、逆から狙いました。正面はかりにこだわっていると、こうした写真は撮れません。
 ■カメラ：キヤノンEOS iN レンズ：70mm F2.8
 ■絞り：f5.6 シャッタースピード：オート ストロボ：540EZ フィルム：アステリア 撮影地：高知県高知市

てみて下さい。祭りはエネルギーでスピーディですから、すぐにシャッターをきりたくなりがちです。でも、そこで一工夫してみてほしい。祭りであれば撮れない写真というのはたくさんあると思います。それと、AFから絞りやシャッタースピードをプラスとマイナスに、少しずつ変えたものを必ず撮っておくようにするのいいと思います。きっと自分でも驚くような発見があると思いますよ。

——大山先生の「よさこい祭り」の写真を見ていると、祭りを撮っていると

その後、先生は「うさぎ追いかの山」[※]「よさこい祭り」といった、比較的本の風土に近いものをテーマとして取り上げていますね。
 「うさぎ追いかの山」は私の郷里である熊本の原風景を撮ったものです。ここも近代化が進む中で懐かしい風景がどんどん失われていきます。今撮っておかなければ、これらの風景はもう撮れなくなると思い、郷里に帰ったたびに、撮りためて写真展で発表したものです。このテーマは今も撮り続けています。
 「よさこい祭り」は仕事で高知に行ったときに、「いごっこ」の皆さんとすっきり気が

あつてしまい、何度か行っているうちに、ちょうど、よさこい祭りの時期と重なったことがあるのです。それから毎年行って撮りためています。それを写真展で発表しました。最近では踊り手の方々が私のことを知っているらしく、レンズを向けるとポーズをつけようとするので困ります（笑）。
 ※「いごっこ」は土佐（高知人の気風を表した言葉で、意地っ張り、がんこ者といった意味がある）

——夏の風景写真や祭りの写真についてアドバイスをいただければと思います。

祭りでなければ撮れないシーンを探してほしい。

というよりも、人を撮っているように見えますが。
 そうです、私は祭りという場の「人」を撮っているんです。実際、祭りに参加している女性というのは本当に美しいんですよ。
 ——大山先生の今後の活動予定を教えてくださいいただけますか。

「うさぎ追いかの山」はこれからも撮り続けていきたいですし、また写真集にまとめる計画もあります。川の写真もたくさん撮っているんです。セーヌ川も撮っていますし、京都も、隅田川も撮っています。これもまためたいですね。

最後に、大山先生からカメラのキタムラに望まれること、今後に期待されることをお聞かせいただけますか。

日本中にたくさんのお店を出されながら、社員の教育もしっかりされているので感心しています。カメラ機材を販売されるお店に望みたいことは、社員教育をしっかりやってほしいということです。機材を買っても使い方がわからないという消費者は多い。もちろん写真教室を開くことも大事なことです。と思うのですが、お店の方が適切なアドバイスをしてあげることが、写真文化の発展のためには大切なことです。これからは社員教育をしっかり続けていってほしいと思います。

——ありがとうございました。

今、撮っておかなければ二度と撮れなくなる風景がある。

手前に見える曲線は車のボディです。ちょっとした工夫で太陽の写真もひと味違ったものとなります。
 ■カメラ：ペンタックスMZ-3 レンズ：28mm F2.8 (ソフトレンズ) 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：EB-2 撮影地：滋賀県琵琶湖



夏は昼間は暑いですが、撮影するならば朝早くか夕方がいいんじゃないでしょうか。高原ですと夏は霧が出るので、被写体として面白いですよ。それから私はよく雨上がりにカメラを持って出かけます。水滴がきれいなんですよ。涼しげな川や海もいいですね。

祭りの写真は大変です。私が「よさこい祭り」を撮るときには、まず被写体として、いい踊り手を見つけます。それを陽の高いうちから暗くなるまで、ずっと追いかけて撮り続けるんです。シャツを2枚も3枚も持っていて、途中で着替えます。それぐらいいエネルギーを使います。シャッタースピードを変えたり、逆光を狙ったり、色々試してみます。少しでも人とは違う写真を撮るように工夫しています。

皆さんも決まった被写体を決まった角度からだけで狙うのではなく、ファインダー越しに様々なものを、様々な角度から覗い



北海道の富良野です。夕日が様々な色に染め上げてくれました。
 ■カメラ：キヤノンIXE レンズ：24~85mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：フジクローム100ix 撮影地：北海道富良野



波が描き出した山脈。このまま押し流されてすぐに消えてしまいます。その瞬間の風景を切り取るには、日頃から鋭敏な感性を鍛えておかなければなりません。
 ■カメラ：キヤノンEOS iN レンズ：70mm F2.8 絞り：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：ベルビア 撮影地：アメリカハワイ

琵琶湖です。ソフトフォーカスレンズを使用していますが、このレンズはちょっと絞りを工夫して、ソフトに写る少し手前で撮りますと面白い写真が撮れます。太陽の光がゆがんで写っているのはこのためです。
 ■カメラ：ペンタックスMZ-3 レンズ：28mm F2.8 (ソフトレンズ) 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：EB-2 撮影地：滋賀県琵琶湖



大山 謙一郎先生が撮る 「よさこい祭り」(炎えた女)

「いっその」「よさこい祭り」を愛してやまない大山先生が、その独自のユニークな視点でとらえたその作品の中から、ほんの少し拝借して誌上で紹介いたします。
大山先生は、もちろん今年のよさこい祭りにもお出かけになります。「きつとどこかにいますから、見かけたら声をかけてください。いくらでも撮影のコツを教えますよ」と、うれしいコメントをいただきました。
読者の皆さんもこれを機会に足をお運びになって、祭りの写真に挑戦されてはいかがでしょうか。きつといい作品と、いい思い出ができると思います。

(左・左下・下) これらの写真はスローシャッターで撮っているわけですが、スローシャッターで動きの速い被写体を撮ると当然ブレるわけで、そのブレで踊りの躍動感を撮るわけです。と口で言うのは簡単ですが、実際はちょっとしたシャッタースピードの差で、ブレすぎて何が写っているのかわからなくなってしまう。ちょうどいいブレを得るためには、とにかくシャッタースピードを少しずつ変えて根気よく撮るしかありません。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/8秒 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア



これは踊り手に向かってシャボン玉が放たれたところ。派手な演出もよさこい祭りの特徴です。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：オート ストロボ：540EZ フィルム：プロビア



祭りでは日常では見られない様々なポーズをしてくれますし、それがまた様になるのです。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f8.0 シャッタースピード：オート フィルム：アステリア



追いかけていって、ふっと動きが止まったところを後ろから撮りました。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：アステリア



■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：アステリア

(左・下) 歌舞伎で言えば見栄をきいているところです。私の場合、もちろん待つて撮ることもありますが、たいていは、これはと思った踊り手をとにかく追いかけて撮り続けます。



■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/15 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア



(上2点) よさこい祭りでは踊りばかりではなく、衣装も様々な工夫がされていて、踊りの振り付けにより、その衣装の模様も様々に変化します。ストロボで衣装の絵柄を浮かせ、スローシャッターで背景を活かしました。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/15 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア



(左・上・右) いなせなはっぴ姿もあれば、Tシャツもあるし、現代っ子のストリートファッションもある。小道具もそれぞれ趣向が凝らされていて、よさこい祭りは飽きることがありません。

■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f8.0 シャッタースピード：1/8 フィルム：アステリア



■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f8.0 シャッタースピード：1/8 フィルム：アステリア



踊りばかりに気を取られていると、こんな美しい被写体を見逃してしまいます。とにかく様々なところにレンズを向けてみることです。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/15 フィルム：アステリア



(上・左・下) よさこい祭りで好成绩を上げたグループはステージの上で踊ります。踊り手はここぞとばかりに派手に踊ってみせるわけです。思い切り躍動している晴れ姿です。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/30 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア



(左・下) 顔が写っていないというルールはないけれど、顔がない分、かえって身体の動きの躍動感を強調できる場合もあります。

■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：28~70mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/30 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア



■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：70~200mm F2.8 絞：f5.6 シャッタースピード：1/8 ストロボ：540EZ フィルム：アステリア

カメラは ちゅうとく 田中長徳

最終回 ライカ

Mモデルのさらなる進化

M4からM5、M6まで



1984年以来、ライカの実用的な定番となったライカM6である。TTL測光で従来のライカのスタイルを踏襲した。最近では各種のライカ用のレンズがサードパーティから発売され、そのレンズの選択肢は広がった。

1950年代から60年代の初頭にかけて、ライカMモデルの価格というものは、戦前のように「ライカ一台・一軒」というほどの高価な買い物ではなかったにせよ、それは高価であるには十分な買い物であった。ゆえにライカM型を所有しているという話は、それが特定の人物が持っているという話題に絞られるなら、これはもう大事件であったのだ。そういうアマチュア写真家の

ライカの歴史を分かりやすく、しかも実用的に三回連載でご紹介する、本企画も「大喜利」となった。

今回はM3、M2で世界最高のレンジファインダーカメラとして、まさに不動の地位を確立した、ライカMモデルのその後の、さらなる進化、そして21世紀に向けての展開の予想をしてみよう。今までのライカの紹介記事では、ライカの歴史を振り返るといのが普通であるが、今回は今までのライカの歴史、ならびにライカM6に至るまでの歴史を総合して、来るべき21世紀のライカM7、あるいはM8、そしてM9からM10あたりまでを一緒に予想してみようというのである。

さて、1950年代に、それまでのレンジファインダーとはまったく異なる高精度と高性能と、頑丈さで登場したライカM3と、M2であったが、1960年代になると、第一線のプロ写真家から、M3もM2も時代遅れで、さらなる改良を望むという声が多くなった。

持っているライカM型であれば、そういう写真の趣味人は、それを所持しているだけで、人生は大満足なのであるから、自分の「家宝」であるM3なり、あるいはM2なりに文句を言うようなことはなかった。

問題なのはプロ写真家連中である。M3の静かなシャッター音、明るく正確なブライトフレームファインダーなどは、もう、これ以上は望むことの出来ないほどの、最高のプロカメラであった。ファインダーの正確さは、そのまま大胆な構図をとることが出来るということであり、その撮影は、そのままライカで撮影した写真はトリミングを一切せずに、そのままフルフレームでプリントする、というスナップショットの基本姿勢がそこに完成されたのである。

戦前のドイツのライカによる作品集などを見てみると、そこに何とも形容しがたい、一種の堅苦しさを感じる。実はライカのファインダーがまだ未発達であった時代、すなわち、何処までが画面で、何処までがフレーム外なのか分からなかった、ガリレオ式ファインダーの時代には、畢竟、ライカが写した画面をトリミングして「絵を創造」というのが普通の作画方法であった。そういう「後で加減する」のは本来のライカ術ではなく、ライカは現場主義のカメラであり、シーンを撮影する時に、すべての構図を決定すること——このライカ写真術の奥義をライカは、当時の写真家に教えたのであった。

さて、それほどまでに優秀なライカ、M3そしてM2ではあったが、現場のプロには大変に不満なことがあった。プロ写真家はアマチュア写真家と異なり、大変な量の

Nikon

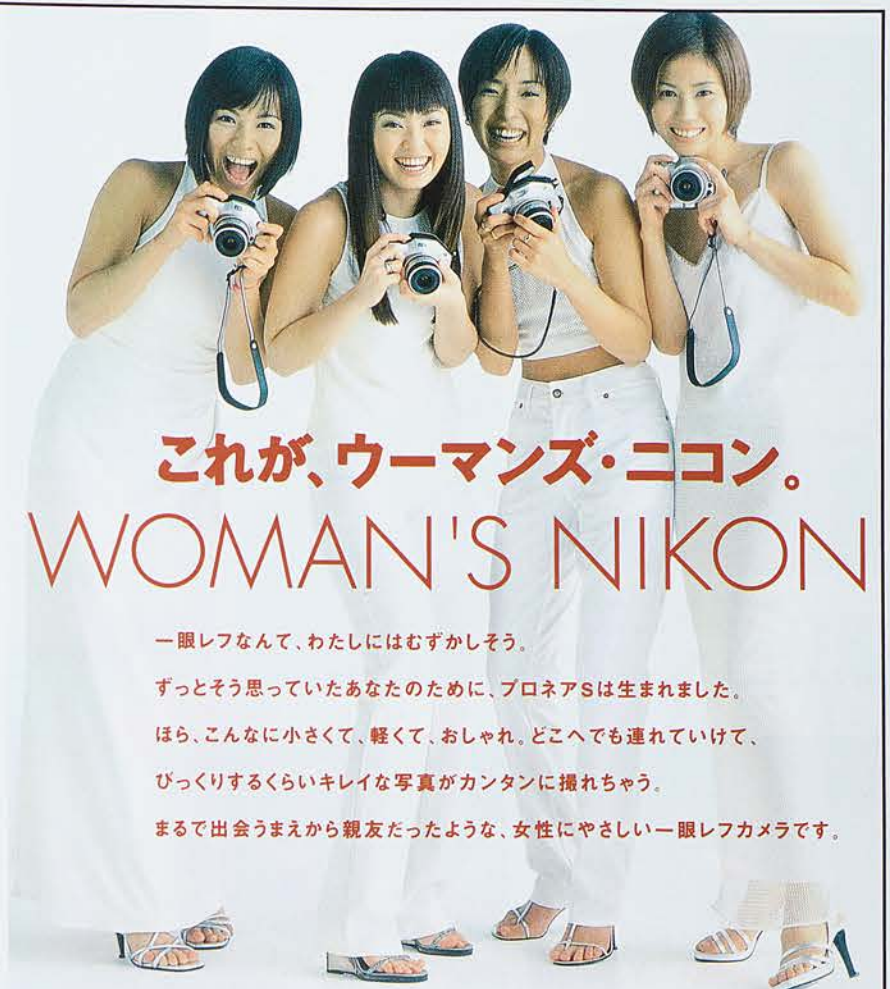


PRONEA S

APS AF一眼レフ / ニコン・プロネアS
ボディ本体 (キコン・スタック 種類別 ¥54,000)
IXニッコール 30~60mm F4~5.6付 ¥74,000

■インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/>
■NIFTY-Serveで「ニコン・ステーション」を開設しています。「GO-SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。
■カタログをご用意しています。機種名をご明記のうえ、100-8693 東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛ご請求ください。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで、電話 (03) 3216-1010 FAX (03) 3287-0897



これが、ウーマンズ・ニコン。
WOMAN'S NIKON

一眼レフなんて、わたしにはむずかしそう。
ずっとそう思っていたあなたのために、プロネアSは生まれました。
ほら、こんなに小さくて、軽くて、おしゃれ。どこへでも連れていけて、
びっくりするくらいキレイな写真がカンタンに撮れちゃう。
まるで出会うまえから親友だったような、女性にやさしい一眼レフカメラです。

京セラ株式会社



CONTAX
Aria

●大きさ137(幅)×92.5(高さ)×53.5(奥行き)mm、重さ460g(電池別)の軽量コンパクト設計。(Ariaボディ)●CONTAX一眼レフ初の評価測光搭載。●マニュアルフォーカスを快適にする明るいファインダー。●設定自在のカスタムファンクション機能。●ストロボ撮影時の操作性を高めるオートセット機能。●最高速1/4000秒の高精度シャッター。●日付や露出データをフィルムに記録できるデータバックD-9装備。●メーカー希望小売価格/Ariaボディ: 89,000円、AriaD(データバックD-9付)ボディ:132,000円(消費税抜き価格)
※Ariaボディは別売、AriaDボディは標準装備。製品写真はAriaにプラナー-T・50mm F1.4を装着したものです。

京セラ(株)光学機器事業本部 〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 TEL:03(3708)3114
©京セラインターネットホームページ<http://www.kyocera.co.jp/>

カメラは ライカ

ライカはコンパクトライカ路線としてライカCLを1973年にミノルタと提携して発売。その改良型のミノルタCLEは絞り優先のオート機で、噂ではライカの次世代機になる予定であったらしい。しかし、結局はミノルタブランドで発売になった。

しを了した過渡的なモデル、ライカM4.2を発売する。このモデルではライカワインダーが調整なしで装着可能で、これは報道関係のカメラマンなどには好評であった。1981年には、M4.Pに28ミリと75ミリのファインダーフレームを追加したライカM4.Pが登場した。

1967年のライカM4から、ラビッドローディング式のフィルム装填が採用された。さらに1978年のライカM4.2ではライカワインダーの連結カプリングが常備された。写真はM6の内部を示す。

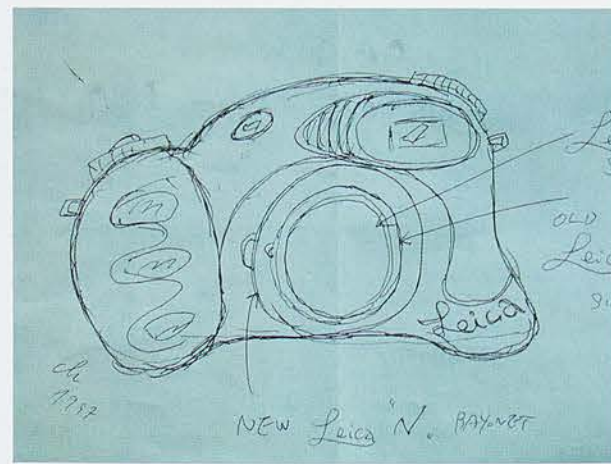
ライカM5ではフィルム面の前に現れる測光素子であったのに対して、M6ではシャッター幕の白い丸の反射をカメラ内部で測光するという方式に改められた。

以来、M6は現行ライカの完成モデルとして実に15年以上のロングランになり、1998年のフォトキナでは、TTLのフラッシュ測光が可能でライカM6TTLとなった。



1967年、ライカの新しい発展を見据えて登場したTTL方式のライカM5であったが、逆にライカファンの「保守的ライカ美学」に反抗されて、予想外に人気が出なかったモデル。しかし、最近ではその価値が再評価されている。(協力：三共カメラ)

1967年、ライツはライカM4を発売した。このモデルで初めてクラシック巻き戻しを採用している。さらに今までのフィルム装填のように、いちいちカメラのボディから巻き上げスプールを取り外して、そこから先端にフィルムを差し込むのではなく、最初からボディ内にスリットがついたスプールが固定され、そこにフィルムを差し込む方式であった。これで、それまでの問題はようやく解消されたのだ。さらにM4では35ミリのブライトフレームの中央に1.35ミリのフレームを追加した。



ライカM4と同時に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

ところで、私がM6を使うようになったのはつい最近のことなのである。それまでは長い間M5を愛用していたのだ。M5とM6を比較すると、M5はライカの技術が最高水準にあった時代の製品だから、実にはライカも例外ではないのである。ただ、実用性のライカとしては文句の言いがたないのがM6である。私の最新刊の写真集「FROM RUSSIA WITH LEICA」(アルファベータ)は、モスクワをライカM6で取材したライカスナップの写真集だ。ライカM6一台にレンズはリコーGR28ミリと古いエルマー90ミリの2本だけで、取材した作品集だ。こういう仕事を離れた、フットワークの軽い撮影には、M6は最高の仕事をしてくれる。ただし、最近のライ

ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの



ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

ライカM4と同時期に開発されていたのが、ライカM5である。こちらは4年ほど遅れて1971年に登場した。それまでの

1967年登場のライカM4は、それまでのライカM3の現場での操作の問題点を解決した。フィルム装填関係が大幅に向上したのだ。M2からの発展型であるM4は、その後、M6へと進化を続ける。(協力：三共カメラ)

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

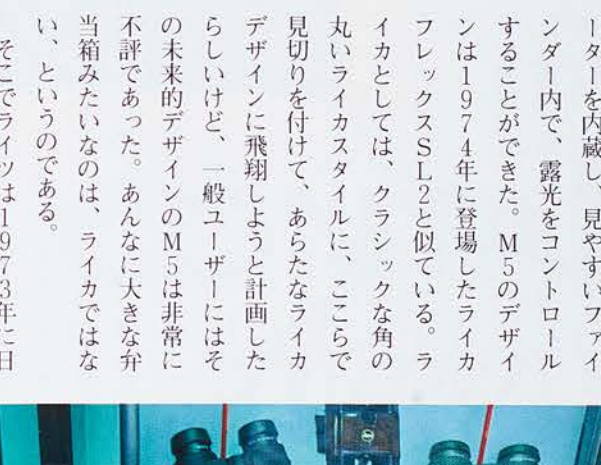
ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ

ライカというのには実に不思議なカメラである。最初に登場した時には、破天荒な革命的カメラシステムであったのが、後には保守的になって、なかなか新しい機構を採用しようとしなかった、これはその一つの例であった。仕方ないので、プロ連中はノブの上にクラシックのアダプターなどをかぶせて、自己流でライカM3、M2を使用した。当時のアメリカには、そ



1971年、ライカの新しい発展を見据えて登場したTTL方式のライカM5であったが、逆にライカファンの「保守的ライカ美学」に反抗されて、予想外に人気が出なかったモデル。しかし、最近ではその価値が再評価されている。(協力：三共カメラ)

ライカM5ではフィルム面の前に現れる測光素子であったのに対して、M6ではシャッター幕の白い丸の反射をカメラ内部で測光するという方式に改められた。

ライカM5ではフィルム面の前に現れる測光素子であったのに対して、M6ではシャッター幕の白い丸の反射をカメラ内部で測光するという方式に改められた。



たなか ちょうとく
1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近クラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。

チビッコの作品 大募集!

賞金・
賞品総額

150万円

今年から
チビッコ写真コンテスト
が新しくなります!

毎年多くの作品をご応募いただいております
「チビッコ写真コンテスト」が、
今年から、より皆様に愛されますように、様変わりいたします!
もちろん、お子様というテーマは変わりません。
「チビッコ写真コンテスト」同様、どしどしご応募ください!
詳細は、7月中旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置されますポスター、
または応募チラシをご覧ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

募集期間

平成11年7月15日(木)~8月31日(火)
カメラのキタムラ店頭または事務局必着

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCI 分光透過率 ●高精度7ゾーンバツパシ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●連発モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

GR1s

(ボディカラー:ブラック/シルバー)
●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)
GR1s ¥95,000(税別)
GR1s DATE ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。

〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00
●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

優秀賞受賞
「腕白時代」中村利治様(愛知県)
子供は平気で川の中に入っているし、
パンツが濡れても気にしません。
いつかお気に入りの洋服を着てほしい。



優秀賞受賞
「夏休みの宿題」宮林千春様(長野県)
夏休みの宿題は本日に嫌でした。早く済ませて
遊びたかったんですが、ぜんぜんはかどらない。
この子、気持ちもよくわかります。

優秀賞受賞
「美女と野獣」須田 毅様(愛媛県)
ネコちゃんは何で怒っているのかな?
お嬢ちゃんと猫の表情の対比が、
とってもユーモラスです。



佳作受賞
「勝負!!」長堂嘉秀様(沖縄県)
男の子は誰でも遊びでヒーローを目指します。
遊びのヒーローは勉強ができる子よりも、
すっと輝いていました。

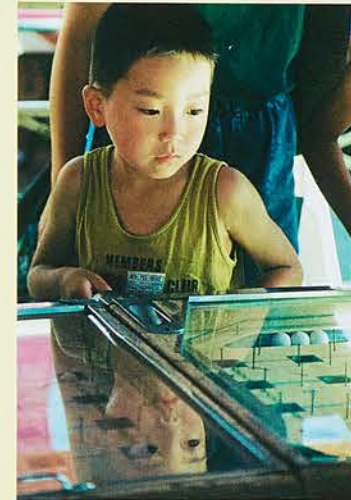
佳作受賞「カチカチ山はだれ」
石倉泰久様(島根県)
お子様の表情がシャットアップ!
ハマリすぎて可愛い(笑)。



グランプリ受賞
「ウワーツ」吉岡直樹様(島根県)
子供のころ、誰でも一度はこういう遊びをやったはず。
子供たちの元気な笑い声が聞こえてきます。



最優秀賞受賞
「プーさん、おさないで!!」丑米香理様(福島県)
何でもおもちゃにできること、何でもお友達になれることが
子供の特権!プーさんに負けるな!



優秀賞受賞
「僕の真剣勝負!」残間 伊都男様(北海道)
最初にスマートボールをやったとき、
確かにドキドキしました。
子供は真剣に遊べるんです。



最優秀賞受賞「しょうくん」湯地邦人様(宮崎県)
子供って本当に変なことを思いつくんですよ。
「これ口に入るかな?」「いくつ口に入るかな?」って、
皆さんも小さいときにやりませんでしたか?



最優秀賞受賞
「夏休み」辻村友博様(静岡県)
ビールボールはしばらく前までは、
どこでも夏の風物詩でした。
子供はみんな水遊びが大好きです。
こんなふうに思いっきり遊ばせてあげたいですね。



カメラのキタムラ チビッコ写真コンテスト 受賞作品誌上 展覧会

ご家族皆さんが待ちに待った夏。カメラのキタムラが主催するチビッコたちの写真コンテストの季節が訪れました。今年も従来の「チビッコ写真コンテスト」を様変わりさせまして、より一層皆さんに親しみやすい、愛される写真コンテストとしてバージョンアップいたします。元気なチビッコたちのテーマは変わりませんので、心待ちにされていた皆さんにもご安心いただける内容です。元気いっぱいのお子様をフラインダーで追いかけて、楽しい作品ができましたら、お気軽にご応募ください。

キタムラでは、作品を応募される皆さんの参考にしていただければと、前回の受賞作品の一部を誌面に掲載いたしました。素晴らしい作品、楽しい作品、愛らしい作品等々、いずれもお子様のはちきれそうなお元気な笑顔と、お子様に対する愛情の深さが伝わってくる作品ばかりです。

お子様は宝石です。今年も夏の陽光の中で、その元気いっぴいのきらめきを、ぜひ、わたしたちキタムラに拝見させていただきます。社員一同、心待ちにしております。

※写真のコメントはキタムラの社員によるものです。



美しさだけでなく、機能だけでもない。
μ・新基準

ミューで撮ろうと決めました。

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス

- 38~140mm・3.7倍ズーム
- 46mmの超スリムボディ
- 大光量&オートカラーバランスフラッシュ
- 生活防水

新発売



※世界で一番薄い
超スリム46mm

高倍率140mmズーム、薄型ボディ。

μ[mju:] ZOOM 140 DELUXE

ミュー・ズーム140 デラックス
希望小売価格 ¥64,000 (税別)

本革ケース/本革ストラップ/リモコン付

※35mmフォーマット、3.7倍クラスのズームコンパクトの中で。平成11年5月現在。



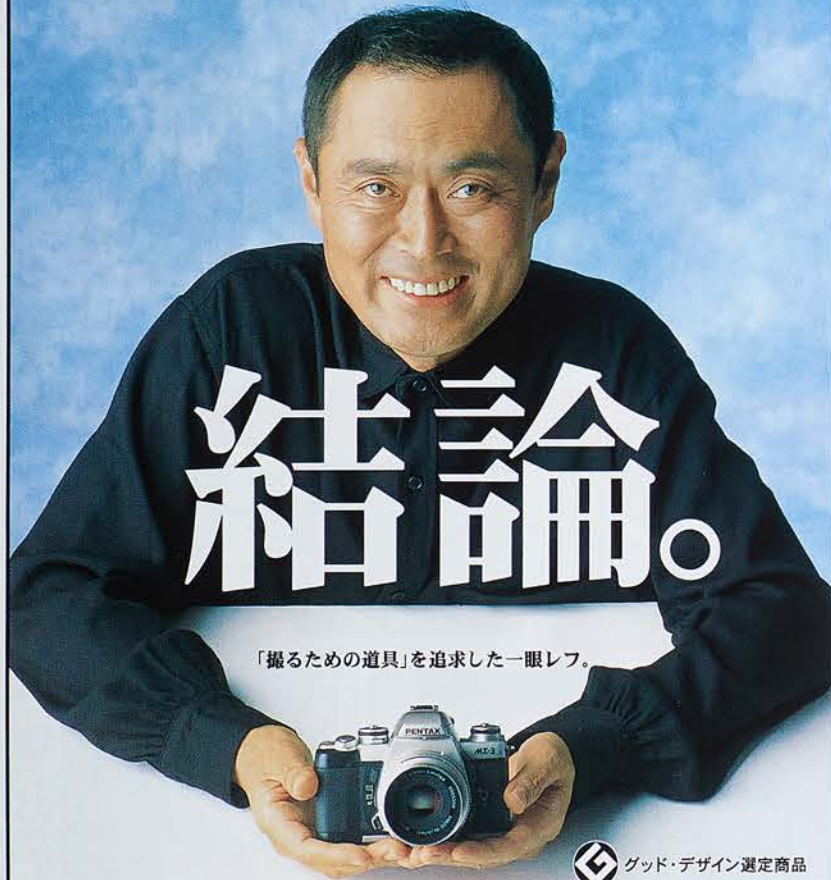
●本革ケース

●本革ストラップ

●リモコン(RC-200)

自分で電池交換できる。
(電池CR-1220 1個)

PENTAX



結論。

「撮るための道具」を追求した一眼レフ。

グッド・デザイン選定商品

その超小型軽量ボディは、右手と左手の操作範囲から生まれた理想のデザイン。そのダイヤル操作系は、撮影状況をひと目で理解するためのインターフェイス。一眼レフとしての理想をカタチにしたPENTAXの結論です。誕生以来、MZ-3が世界中のカメラファンから絶賛を受けてきた理由を、あなたの手で確かめてください。

ダイヤル式超小型軽量先進AF一眼

MZ-3

希望小売価格(税別)
 ボディー(ブラック/シルバー) 83,000円
 FAズーム28~70mm/4AL 30,000円
 アルミ削り出し高品位単焦点レンズ
 FA43mm F1.9 Limited 69,500円
 写真のレンズはFA43mmF1.9Limitedです。

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)
 ●製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479
 ●インターネットホームページ <http://www.pentax.co.jp/>



折戸湾からは逆さ富士が撮影できます。
 ■マミヤRB67 セコール127mm フジクローム
 100 F8 1/125秒 PL 使用



海のレジャーも盛んです。
 ■ニコンF601 AFニッコールズーム35-70mm エクタクローム100 プログラムオート

ぶらり
わが街

【静岡県清水市】

静岡県清水市
望月正晴さん

写真を趣味としている方々に、地元の名所や撮影ポイントを紹介していただいているこのコーナー。今回は機会あるごとに富士山を追いかけておられ、キタムラ主催の「第6回全国春の花フォトコンテスト」特選に入賞している、静岡県清水市の望月正晴さんにご登場いただきました(カメラのキタムラ清水・草薙店 藤田真也)。

清水市は海と山に囲まれ、そして川の流れる風光明媚な所です。清水港、日本平、三保の松原と全国的に名をはせている景勝地もあります。また、どこからでも富士山が眺められ、私の家の窓からも美しい姿を仰ぐことができます。こうした土地柄ですから、海の幸、山の幸にも恵まれている一方で、撮影ポイントにも恵まれているといえるでしょう。

富士山はあまりにも見慣れていたことで、撮影対象から外していたのですが、地の利を活かして積極的に撮るべきではないかと、二年ほど前から富士山を追いかけるようになりました。追いかけてみて、改めて「富士は奥の深い被写体である」と感心させられています。通いつめてもいまだに、思いどおりの光に恵まれた写真が得られていません。

撮影には遠方には車を使いますが、近隣はどこにでも入っていける原付バイクを大いに活用しています。

清水は私自身も大変気に入っている街ですが、皆さんもカメラ片手に風景と山海の幸を味わいに来ませんか。



■マミヤRB67 セコール65mm フジクローム100
F32 1/4秒 PL使用

カモメに毎日、餌つけする人も...
 ■ニコンF601 トキナーAFズーム20-35mm F2.8 エクタクローム100 プログラムオート



昼間は茶畑・雲海・富士の順で見られる所です。
 ■マミヤRB67 セコール65mm フジクローム100 F8 180分



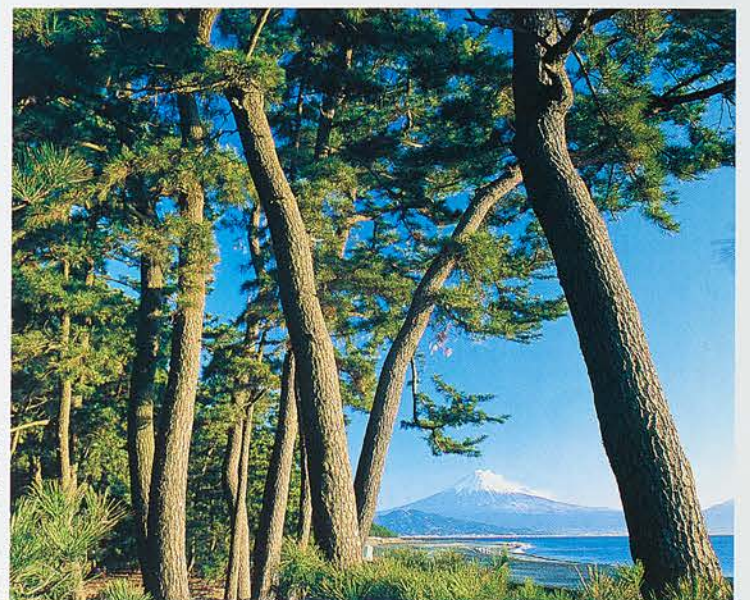
魚をする姿もあちらこちらに...

■ニコンF601 AFニッコールズーム35-70mm エクタクローム100 プログラムオート



望月正晴さん
 清水市生まれ、59才。写歴15年ほど。「地方のコンテストや雑誌に入賞していますが、最近ほとんど応募していない」とのこと。いつもカメラを忍ばせて、自称「写真バカかな」。

三保の松原からの景観です。
 ■マミヤRB67 セコール65mm フジクローム100 F32 1/4秒





田川一郎様(愛知県)「だち!!」
夕陽をバックに、犬の動きもいいし、絶妙なシャッターチャ
ンスなのですが、ヒントが合っていないのが惜しい作品です。



大羽千晶様(愛知県)「一緒にねてたのにジャマしたナ!」
作品のポイントがヌイグルミとチワワに分かれて
います。主役がどちらなのかを明快にさせた作品
づくりを心がけた方がよいと思います。



池葉須 稔夫様(岡山県)「私の好物!」
家の中で撮る場合は画面を整理するように心
掛けてください。また、もう少し猫を大きく捉え
るように工夫すると、ずっとよくなると思います。



渡辺鷹一様(埼玉県)「みんななかよし」
カメラが斜めすぎるために画面に落ちつ
きがありません。手前の二人が強調され
過ぎていられるのも気になります。やはり正
面から狙った方がよかったです。と思います。



丸吉和義様(熊本県)「お昼寝」
よく見ないと猫の表情や仕草、格好がわからなく
なっています。せっかく飼い主しか撮れない写真
だけに工夫がほしかった。

増田奈穂様(神奈川県)「ひよっ」とと飛び」
アングルを下げてワンちゃんを真横から狙い、
空中で跳んでいるところを撮った方が、かわ
いさがより強調できたと思います。



林田 豊様(熊本県)「かわいい小犬」
風景を撮っているのか子犬を撮っているのか見
分けのつかない作品になっています。自分は今、
何を撮っているのかを迷わないようにしよう。

野田保彦様(大阪府)「お花見」
桜の花がメインに見えていますので、もっと被写体
に寄ってください。道路に散った桜の花びらもわか
りやすく、風情のあるテーマだけに惜しいと思います。



池田兼一様(新潟県)「んっ? 何だって!!」
水道が隠れているので状況がわからなくなっ
ています。猫が何をしているのかを見た人に伝え
られれば、かわいさはもっと強調できると思います。

福原正雄様(東京都)「ハイ…たべて」
鳩とお子様の大きさが違いすぎて、何を撮っ
ているのか、テーマがわからなくなっています。
やはり正面から狙った方がよかったです。では
ないでしょうか。



矢次 梨恵子様(長崎県)「あーうまい!」
もう少し水道の蛇口を開き、水しぶきを上げるくら
いの方がテーマが強調できたと思います。また、この
作品はヨコではなく、タテで攻めた方がいいでしょう。



孫本 豊様(和歌山県)「羨」
真ん中のスペースの処理に工夫がほしかったのと、
舞妓さんの手が影の中に消えているのが気にな
ります。舞妓さんと犬との体感にも工夫ほしい。



北之上 悦子様(大阪府)「早く、ちゅーだ!」
ワンちゃんも女性も表情がとてもいいのですから、
素直に水平に撮ってほしい。カメラを傾けてい
たのでは上位入賞は難しいと思います。

宮本毅史様(福岡県)
「カラーコンタクトをした仔馬」
この作品は、あまりにもアップになりすぎていて、
見たときに仔馬であること、またそのかわいら
しさがわかりづらくなっています。



木原準之助様(福岡県)「クロちゃん」
犬の下が切れているためにジャンプしている
ところがわかりません。状況を伝えることに、
もう少し気を配ってください。

ここに気をつければ ずっとよくなる!

増田勝正先生の ペット動物写真 ワンポイントアドバイス

今回で第4回を迎えたカメラのキタムラの「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」。
年々応募されてくる作品の質が向上し、審査員の増田勝正先生はもちろん、キタムラの社員一同、嬉しさもひとしおです。
どの作品も動物への愛情が溢れていて、一つでも多くの作品を入選させたいのですが、
コンテストですので心を鬼にして落選させた作品も少なくありません。
そこで、惜しくも入選を逸した作品の中から数点を選び出し、増田先生に少しでもアドバイスをいただきました。
先生のアドバイスを参考に、次回ぜひ入賞を狙ってください。



山田陽子様(東京都)「無題」
猫の耳がカットされているために、表情が今一つ伝わ
ってきません。動物の耳と尻尾は表情を表す重要な
要素ですので、アングルには十分に注意してください。



仲栄真 宏様(沖縄県)「4つ子ちゃん」
お子さんの顔がないという点が致命的です。お子
さんと子猫のかかりが消えてしまうと、テーマ
も消えてしまいます。

上谷隆子様(大阪府)「花の首飾り」
題名から考えても、階段ではなく、
猫がもっとリラックスする場所を選
んだ方がよかったですように思います。
自分が撮りたいテーマを明確にし
ましょう。



折原三郎様(福島県)
「つかれちゃった。」
作品の中で主題となる被写体が小さ
すぎます。もう少し寄って撮らないと
ベンチばかりが目立ってしまいます。



宮戸宏子様(東京都)「かわいいな!」
犬の方が大きすぎて、ハムスターとのバラ
ンスが取れていません。このような場合は
アングルを下げて、小さな動物の方を狙うよ
うに撮った方がいいでしょう。



レンズ特集Ⅱ

——機動性豊かなズームレンズを中心に——

この特集は35mm一眼レフを対象にした交換レンズを2回に分けて掲載しています。前号では特性、焦点距離など、レンズとはどのようなものか、基本的な内容を紹介しました。今回はより具体的に話を進め、特にズームレンズを中心に主力メーカーに直接取材してみました。過去において「ズームレンズは描写性が単焦点レンズに劣る」といわれてきましたが、そのイメージは今や払拭され、ズームレンズの持つ機動性を活かす方向に進んでいます。

Canon

この世界が一段広くなり、撮影の限界ハードルを下げることに結びついています。カメラボディと交換レンズとの融合性の高さが大きな特長になっています。さらに、交換レンズは銀塩カメラだけでなく、ビデオカメラ、デジタルカメラにも互換性があります。



10倍ズームで機動性は抜群

EF35~350mm F3.5~5.6L USM

10倍の超高倍率ズームレンズですが、シャープさは切れ味もよく、広角側の周辺光量の低下もありません。最短距離が135mmで60cmまで迫れるのも、室内撮影にも対応しています。ボケ味は柔らかく、また、ウルトラソニックモーター搭載で、オートフォーカスの合焦も早く、ズームレンズの軽快さをより発展させています。マークのLは最高級ガラスを使用している意味があり、キヤノンならではの性能です。
●希望小売価格(税別) 298,000円

明るいレンズで手持ち範囲広がる

EF70~200mm F2.8L USM

操作性がよく、安定した重量感、またこのタイプの中ではF2.8と明るいので、手持ちでも充分に対応できるレンズです。ピント合わせはウルトラソニックモーターなので、静かです。写りは単焦点レンズ並みで、ポートレートにも適しています。
●希望小売価格(税別) 204,000円



手ブレ補正機構の搭載

EF28~135mm F3.5~5.6 IS USM

ズームレンズでは、望遠でうっかり広角の意識で撮影してしまい、手ブレでピンボケになってしまう例が多々あります。これを解消してくれるのが、手ブレ補正機構のIS(イメージスタビライザー)です。この搭載によって、初心者からベテランまで幅広い層に使用できるズームレンズとなっています。
●希望小売価格(税別) 78,000円

描写性能の高い実力派

EF75~300mm F4~5.6 III USM

望遠系ズームレンズとして価格も手頃ですが実力派です。レンズのボディラインには凹凸がなくスッキリしており、操作性の良さが特長です。中望遠から超望遠までのズーム全領域で、描写性に優れています。
●希望小売価格(税別) 43,800円



キヤノン

手ブレ補正、レンズ内モーター搭載

キヤノンは1987年、新しいカメラからマウントを全面的に切り替えたのに伴い、レンズ開発におけるネックや拘束されていた部分が解消され、カメラとの融合性が一段とアップしました。イメージサークルが大きくとれるようになったことで、ミラー切れの解消になり、35mmでアオリができるレンズの開発も可能になりました。また、時代の流れに沿って電子化の促進を図れるようになり、レンズとカメラ本体とはすべて電気的信号で動作できることから、レンズ内にモーターを搭載することも容易になっています。キヤノン独自の手ブレ防止機構(イメージスタビライザー)や視線入力モードなどもカメラとレンズの融合性が電気的に行われることによって可能になりました。

キヤノンからのズームアドバイス

ズームは被写体の大きさを決めて自分が動き、そこで絞りを変えられますから、作品を作る上で、ズームレンズを否定する要素はないといえるでしょう。ズームレンズの持つ優位性を活かした撮影に心がけていただければと思います。



OUR WORLD

そのとき、カメラは言葉を超越するコミュニケーションの道具になった。セブ島・フィリピン。佐藤ヒデキ/1953年、兵庫県尼崎市生まれ。高校在学中より写真家・西浦宏己氏に師事、日本写真専門学校中退。10数年も世界のボクサーの生き様を撮り続けるなど、独自の創作活動を行っている。
撮影データ：28~200mm F3.5-5.6 DL ASPHERICAL HYPERZOOM MACRO, 1/45秒, F4.5

佐藤ヒデキが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

レンズを向けると子供たちが一斉に群がってきた。言葉は通じなくても気持ちは通じた。笑顔が弾けた。シグマが捉えた。旅行やスナップに最適なズーム。28mm~200mmの全焦点領域で、最短撮影距離50cmの近接撮影が可能。前群レンズにSLD(特殊低分散)ガラスを使用し、色収差を極限まで補正。後群レンズには非球面レンズも採用。フォーカシングしても全長が変わらず、レンズ先端も回転しないインナーフォーカスを採用。フィルターワークも容易。

広角・標準・望遠を1本でカバーする、オールマイティ・ズームレンズ。

SIGMA 28-200mm F3.5-5.6 DL ASPHERICAL HYPERZOOM MACRO

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都船江市岩戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

NEW



●AF希望小売価格(税別):53,000円、パーフェクトフード付

SIGMA



1対2のテレマクロ機構
AF28~80mm F3.5~5.6
ミニズームマクロ

このタイプでは唯一の最大撮影倍率1対2(80mm側で撮影)の本格的マクロレンズ並みのテレマクロ機構を備えています。ポートレートから接写まで複合非球面レンズを採用した独自の光学技術により、全領域で単焦点レンズに匹敵する描写性を発揮します。
●希望小売価格(税別) 28,000円

安価でも
特殊ガラスを採用
AF70~300mm
F4.5~5.6DL
マクロースーパー

300mm側で最大撮影倍率1対2の本格的なテレマクロ機構を採用。四万七千円と安価にもかかわらず、光学系に特殊分散ガラスを採用して極めてシャープで良好な描写力を誇っています。

●希望小売価格(税別) 47,000円
(キヤノン・シグマ用 52,000円)



スピーディなAF、MF切り換え
AF70~200mm F2.8EX アポ/HSM

EXシリーズを代表する大口径望遠ズームです。四枚の特殊低分散ガラスを採用し、抜群のシャープな描写を発揮します。ニコンAF用、キヤノンEOS用、シグマSA用には高速で静かなオートフォーカスを実現する超音波モーター[HSM]を搭載しています。精度の高い、あるいは自分でフォーカシングを行いたい人にはスピーディにマニュアル切り換えができるフルタイムマニュアル機構が便利です。このレンズ専用 고성能な1.4倍と2倍のアポテレコンバーターもあります。2×EXを装着すると140°400mmF5.6の望遠として活用できます。装着時にもAF速度は損わずに高速撮影が可能です。

●希望小売価格(税別) 140,000円



撮影領域の広いオールマイティなレンズ

AF28~200mm F3.5~5.6DL ハイバースームマクロ
広角28mmから望遠200mmまでを一本のレンズでカバーするオールマイティレンズです。全焦点領域で、最短撮影距離50cmの近接撮影を実現していますから、狭い室内でのアップも容易です。前群レンズの一枚に特殊低分散ガラス、後群には一枚の非球面レンズを採用し、色収差を極限にまで補正してあるのが特長です。フォーカシング方式にインナーフォーカスを採用しているため、フロントが回転せず、フィルターワークも容易です。旅行にスナップにいずれの焦点距離をとっても最適な写真が得られます。

●希望小売価格(税別) 53,000円

CONTAX

京セラからの
ズームアドバイス

コンタックスはレンズ性能を判断するひとつの材料としてMTF曲線を公開していますが、これは自信を拡張しているのではなく、少しでもユーザーにレンズのことを知っていただきたいためのものです。こうしたことから、ズームレンズも含め、ボケ味のMTF曲線まで公表してはどうか、とドイツ本社から要望が出されています(京セラではそこまでの必要性は「ない」と止めていますが)、ズームレンズも単焦点レンズと同様にボケ味の良い力量を持ったものを選ぶことをおすすめします。つまり、写りを主体にしたレンズということです。



マクロから風景まで
パリオ・ゾナーT※ 28~70mm
F3.5~4.5

使用頻度の高い焦点距離をカバーし、花などの接写からポートレート、風景撮影まで幅広く使えるレンズです。小型・軽量で機動性に優れています。マクロ撮影では1:3まで可能です。
●希望小売価格(税別) 79,000円(MM)



どの焦点距離でも優れた
高描写力

パリオ・ゾナーT※ 80~200mm F4
どの焦点距離でも忠実なコントラストとカラーバランスに優れた高描写力が自慢です。また、どの焦点部分をとっても単焦点レンズに匹敵する描写力があります。最短撮影距離も1mと短く、200mm域では1:3.3のマクロ撮影が可能です。
●希望小売価格(税別) 128,000円(MM)

シグマ

高性能・小型で
バランスのよいレンズ

レンズの性能は光学技術の発達により、色収差、歪収差などの改良精度は各社ともほぼ同レベルになりつつあります。そうした中で、同社は「写真を撮る道具として、使い勝手の良さ」を大切にしています。高性能化・小型化・軽量化は当然として、安価を加えてこの4点のバランスのよいレンズを作ることを目標としています。また、幅広い製品群によってお客様の選択度が高いことも特長です。

シグマからの
ズームアドバイス

ズームレンズはファインダーを覗きながら構図のフレーミングができ、そのレンズの持つ性能の範囲内ならば、レンズ交換をすることなく、画角が変えられる便利なレンズです。しかし、ズームレンズならではの注意点として、画角が変化することで例えば、超広角域では手の写り込みに注意したり、ストロボ使用時には広角側でフードによるケラレがあります。望遠側では当然、手ブレを注意しなくてはなりません。



PENTAX

使いやすさ抜群の広角ズーム

SMC FAズーム 20~35mm F4AL

広がりのある画角と、遠近感が強調される視覚効果を生かして自由に活かせます。2枚の非球面レンズによって、諸収差を良好に補正し、全ズーム領域で優れた描写性を誇っています。また付属のフードには円偏光フィルターの操作を容易にする窓が設けられており、大変便利です。
●希望小売価格(税別) 79,000円



諸々の収差、反射などを解決して、解像力、コントラストなどを割り出し、適正な描写性のあるレンズを開発しています。低価格のレンズ、高額なレンズそれぞれにバランスの良い性能を確保していくのが光学メーカーの役目ですから、性能アップに効果があるというものなら、可能な限り採用しています。例えば、ゴーストの対策にしても特殊低分散ガラスの採用、レンズのコーティング、鏡胴内の処理、フードの植毛など総合的に捉えて対策を行っています。ズームレンズには弱いところがありますが、コンピュータの駆使、技術の向上にともない、かなりな部分で解決されていますので、単焦点レンズと比較しても遜色ないレベルに達しています。

バランスを大事にした
レンズ開発

ペンタックス

ペンタックスからのズームアドバイス

ズームレンズはひと昔前までは、単焦点レンズと比較して描写性能が劣っていたのは事実です。しかし、これも解消されてきていますが、高倍率ズームでは大口径レンズでなければカバーできない面が指摘されることから、ハイレベルな撮影を意図する人達は、ハイブリットな仕様のレンズを選んだ方が無難でしょう。

作画意図を的確に表現

SMC FAズーム 80~200mm F2.8ED (IF)

ボケ味も単焦点レンズにひけを取らない美しさで表現します。自然な写りを開発の目的にしてみましたから、にじみのない鮮やかな色調とディテールの質感を描写できます。F2.8の明るさによって、室内のスポーツ、舞台撮影にも威力を発揮する最高級のズームレンズです。
●希望小売価格(税別) 210,000円



作画意図を的確に表現

SMC FAズーム 28~70mm F2.8AL

広角から中望遠まで、通常の撮影でもっとも多用される焦点領域だけに、大口径のハイブリット非球面レンズを採用して、ズームレンズの常識を超えた描写性と豊かな諧調を発揮できるように設計されています。クリアで抜けの良い、すみずみまで美しい画像を実現したレンズで、コンパクトで携帯性にも優れ、スナップ、風景、ポートレートなど様々なシーンに対応できます。
●希望小売価格(税別) 165,000円

京セラ

重くても大型でも
スペックが優先

レンズはものを写す道具です。単に写っているのが良いのならば、レンズ付フィルムで充分でしょう。しかし、カメラマンが納得した写りとなりませうと、レンズを選ばなければなりません。コンタックスのお客様は80%の方が、カーリツアイスのレンズを使いたいとして購入していただいています。同じ撮るなら納得した写りを求めておられるのでしよう。

ツァイスレンズの開発指向は第一に「写り」を考えています。描写性のためなら、撮影レンズとして限界はありますが、重くならうと大きくなるうとさほど意識しないところがあります。例えば、ピントの合ったところ以外も大切にしたいとなれば、そのために鏡筒が若干長くなっても「構わない」、あるいはレンズガラスもそれに合ったものをいっしょに探すと考えているのです。こうした意識から、設計・開発時に投資額を考慮しないで制作しますので、一般的にレンズが高価になる傾向にあります。

タムロン

28~200mm 100万本の実績

六年前にズームレンズ28~200mmを発売して、高倍率ズームレンズを確立したのがタムロンです。それまでズームレンズといえば「重く、高く、単焦点に比較して性能が落ちる」といわれていたものですが、これをいかに払拭するかが命題であったとしています。

特に一眼レフユーザーの性能・品質については一般的に高い見識を持っていることから、これを単焦点レンズと比較して見劣りがしないことが大前提になって見ました。が、発売してみても、一眼レフユーザーからの市民権を得て、昨年100万本の実績を残すに至っています。そして、この六年間の声を集約して今年さらには高倍率の28~300mmを新発売しています。

TAMRON

名実ともにオールマイティなズームレンズ

AF28~200mm F3.8~5.6LD アスフェリカル(IF)スーパー



標準ズームとして始めて一眼レフを所持した方からハイクラスの方まで幅広く使用できるレンズです。あらゆるシーンに対応できるこのレンズは米のポピュラーサイエンス優秀賞を始め各種の賞を受賞しており、すでに性能面からも高く評価されているズームレンズです。135mm時には最短撮影距離52cm(最大撮影倍率1:4.8)のクローズアップ撮影も可能ですから、名実ともにオールマイティなズームレンズです。

●希望小売価格(税別) 55,000円

新世代の超高倍率ズーム

AF28~300mm F3.5~6.3LD アスフェリカル(IF)マクロ

「300mmまでほしい」の声を多数寄せられていたことで、総合レンズメーカーとしての力量を集約して性能を落とさず、ワンランクアップさせることに成功したのがこのレンズです。一眼レフのなかでも中・高級機を所持している人に使ってもらえるズームレンズでなければならぬとして開発したことで、ズーム全域で良好な描写性を確保し、操作性にも優れた10.7倍の倍率に加えて、1:3.7のマクロ倍率や実用的な最短撮影距離も確保しています。コンパクトな高倍率ズームレンズの代表的な存在といえるでしょう。

●希望小売価格(税別) 75,000円



タムロンからのズームアドバイス

広角から望遠までの画角を自由に楽しみながら、シャッターをより多く押す、これがズームレンズの機能をより発揮させる撮影方法ではないでしょうか。どこに出かけるにも重いレンズを何本も持つことなく、1本のレンズで軽快に撮影できるのがズームレンズに課せられた役目です。これを100%活かすことが結果として、楽しい写真を得られるポイントでしょう。もちろんジックリ撮る方にもズームレンズは対応しています。ズームレンズの選び方はまず高性能でしょう。この性能を無視すれば、いくらでも高倍率のズームレンズは製造できます。そして第2点はフットワークを活かせる操作性です。

トキナー

ユーザーの要望を 取入れた開発指向

レンズの設計はいかようにも対応できませんが、トキナーとしてはユーザーからの声を大事にしており、それに沿った開発指向をとっています。ユーザーの声は様々でそのために、レンズ群も大きく分けると、高級タイプ、普及タイプ、低価格タイプとなります。

特に1994年にプロシリーズともいうべきATXを発売してからというもの、改めてユーザーはレンズ専門メーカーのレンズに対する品質、性能が認められるようになってきました。「F値の変わらないズームがほしい」「明るいレンズが必要」「オートフォーカスからマニュアル変換も含め、即写性に優れていなければならぬ」「堅牢性を持たしてほしい」などなどの要望を取り入れてきたことで、このATXシリーズが開発されてきました。

Tokina

歪曲収差の少ないワイドズーム

AT-X235AF PRO 20~35mm F2.8(IF) F&Rアスフェリカル

F2.8と明るく周辺光量も充分で、歪曲収差も抑えられ、解放絞りから高い解像力とコントラストを示してくれます。設計が新しいこともあって、全体的に優れた性能を持っています。撮影時に問題となるフレア対策として内部に植毛処理を施し、花形のバヨネットフードを標準装備しているのも魅力的です。さらにAF時はフォーカスリングがフリーになる機構によってバランスの良いホールディングが可能です。 ●希望小売価格(税別) 118,000円



標準ズームの極めつけ

NEW AT-X270AF PRO 28~70mm F2.8

広角から望遠側まで均一な性能を保ち、全焦点距離において解放値のF2.8を維持する大口径標準ズームレンズです。フォーカスリングの幅が広く、フォーカスリングフリー機構を装備していることで操作性に優れ、衝撃、耐久性も向上されています。 ●希望小売価格(税別) 78,500円



ボケ味にも魅力あり AT-X828AF PRO 80~200mm F2.8

望遠ズームレンズとしてはもっとも多く使用されている領域です。それだけに迅速性で正確な合焦が要求されますが、すでに活用している報道カメラマンから折り紙が付けられています。また、ポートレートではズーム全域F2.8の威力が発揮されてバックのボケのコントロールも自由自在です。そのボケ味も自然さを失いません。またプロテクター鏡筒の採用によって堅牢性に優れているのも使用頻度の高いレンズとして合格点が付けられます。 ●希望小売価格(税別) 138,000円



トキナーからの ズームアドバイス

ズームレンズが多用される要因は、自由に画角が変えられ、フレーミングも楽に行えるなどのメリットが挙げられます。便利な機能が満載しているだけに使われる頻度も当然多くなります。しかし、製造サイドからするとズームレンズは制約される部分との戦いです。その結果、操作性が落とされる可能性があります。こうしたことから、ズームレンズを選択する場合は操作性を重視してはいいかがでしょう。ズームの途中で抵抗感がないか、オートフォーカスからマニュアルの切替えがスムーズに行えるか、持った感触に違和感を感じさせないかなどをチェックしてください。

MINOLTA

円形絞りで自然な描写

AF17~35mm F3.5G

超広角ズームレンズで非球面、ADガラス、円形絞りの採用でズーム全域にわたり優れた描写性を示すレンズです。 ●希望小売価格(税別) 210,000円



撮影領域が広い大口径 AF80~200mm F2.8G

ポートレートに適した80mmから、スポーツ・ネイチャー撮影に使いやすい望遠200mmまで、全域で魅力ある大口径の良さを味わえます。このクラスのレンズの中ではもっともコンパクトで高画質を実現しています。高速AFやフォーカスホールドボタンによって撮影時の機動性を重視したレンズに仕上がっています。また、Gレンズにふさわしい性能を確保するため、ADガラスを使用し、高いコントラストと鮮やかな描写を確保しています。円形絞りの採用とボケ描写を徹底的に追求した光学設計により、美しいボケ味を堪能したい人にはうってつけのレンズといえるでしょう。ボケを活かしたいポートレート、風景などのネイチャー写真、少しでも速いシャッターが切りたいスポーツなど幅広い撮影領域で、高画質と機動性を活かした撮影が可能です。 ●希望小売価格(税別) 190,000円



ミノルタ

ボケの味わい深い 大口径Gシリーズ

ミノルタは世界で始めて一眼レフのオートフォーカス化を1987年、α70000で果たしましたが、この時、交換レンズも当然、それに対応しており、AFレンズの先駆的な存在です。レンズ開発については、画像の再現性に影響をおよぼす光学系の要因、コントラスト、解像力、歪曲、像面照度、ゴースト、フレアなどこれらを最適な目標設定と厳密な品質管理によって、常に最高品質のレンズを製品化しています。

特に留意している点としてはピントの合っている領域だけでなく、合焦前後の被写体の描写性にこだわりを持っており、これによって立体感のある自然な描写ができるようになっています。中でもGシリーズはよりハイレベルな映像表現のために開発した、大口径で優れた描写力を誇るレンズ群となっています。大口径でかつ高品位、高性能を追求するために非球面レンズ、色収差を極限までに抑えたAD(異常分散)ガラスなど最先端技術を導入、その一方で、美しいボケ味を表現する円形絞りを採用しています。

ミノルタからの ズームアドバイス

現在は標準レンズとして、ほとんどの場合ズームレンズが装着されるようになってきました。これ1本で多くの撮影領域をカバーでき、大変有用なレンズです。しかし、撮影ではズームレンズをただ「構図の切り取り」だけに使うのではなく、フットワークと焦点距離の特性を活かした表現を心掛けると、迫力ある写真が得られるようになるでしょう。

ニコン

全体的な描写特性に ポイント

レンズ性能は最終目的である写真が良くなければ失格です。解像度に優れている、コントラストが高いといったも、できた写真がガチガチになったり、滑らかなグラデーションが得られないようでは、撮影目的にかなったレンズとは言えません。こうしたことから、安価なレンズも高価なレンズも、同じ姿勢で撮影を目的として製造しています。それぞれに難しい機構にチャレンジしています。

レンズの開発にあたっては「どのようなコンセプトで行うか」を決めてから、例えば「このようなシーンを撮りたいから、このようなレンズはどうだろうか」といったような検討をしてからスタートします。このために同じ倍率のレンズがあっても不思議ではないのです。つまりコンセプトが異なるためにこうした事態も生じるとしています。

レンズの特長としては、高性能化なのは当然として、誰でもが使えるものを開発してきた一方で、プロのニーズにも応えられる性能と操作性の確保があります。このためにシャッターチャンス逃さないための工夫やボケのきれいな円形絞りを、またオートフォーカス全盛にあってもマニュアルフォーカスに対してもこだわり持ち、強度が高いことが挙げられます。これらを総合してバランスの良いレンズを市場に送っています。



オールマイティなズーム

Ai AFズームニッコール 24~120mm F3.5~5.6D(IF)

広角から望遠までカバーするDタイプの5倍ズーム比ですから幅広い撮影に適しており、標準ズームレンズとして最適です。コンパクトで速写や携帯性に優れ、トラベラーズレンズにもなり、いわばオールマイティなレンズです。ディストーションも最大に抑えられており、風景からポートレートまで、ズームレンズとしては優れた性能を誇っています。 ●希望小売価格(税別) 84,000円

容易にマクロが楽しめます

Ai AFズームマクロニッコール ED70~180mm F4.5~5.6D

世界初のAFズームマクロレンズで、ズーム全領域37cmまで被写体に迫ることができます。これは撮影距離を変えることなく撮影倍率を変更できるということで、自由なフレーミングが可能です。また、昆虫などのバックも不自然さを感じさせないのがこのレンズの特長ともいえます。最大倍率は約1/1.32倍(180mm時)で、もちろん、一般撮影もできます。 ●希望小売価格(税別) 168,000円



名レンズに挙げられる広角ズーム

Ai AFズームニッコール 20~35mm F2.8D(IF)

超広角領域をカバーするDタイプの大口径広角レンズです。F2.8とこのクラスではもっとも明るい部類にあつて、夜景でも点画像は点画像としてキッチリ撮影でき、距離によって画質が低下する現象にも対処しており、名レンズのひとつとして数えることができます。 ●希望小売価格(税別) 227,000円

ニコンからの ズームアドバイス

画角変化を自由に行い、思いどおりの構図で撮れるズームレンズは、言い換えると、軽快でフットワークがよいということです。レンズ選びをする段階では、このフットワークをさらに自在に使えることをポイントにおく必要があるといえます。暗い場所は「ズームレンズだから撮れない」、また狭い場所は「ズームだから苦手」というのでは、フットワークの良さを半減させることとなります。

全国写真クラブ紹介

スズキ写真同好会

- 設立 1984年
- 会員数 25名(会長・金田裕光)
- 活動 月1回の例会、年2回の撮影会、年5回の社内外での展示会
- 場所 静岡県浜松市

「スズキ写真同好会」は25名、全員自動車メーカーのスズキの社員です。最近では熟年社員の入会が増えていますが、只今若い女性会員を募集中です。例会ではお互いの作品批評や撮影地・時期・撮影方法などの情報交換を行っています。社内個展は年齢順で開催しており、順番がまわってくる会員は、作品選びに苦労しているようです。また撮影会の子社員モデル選びでは、会員の趣味が多様なので事務局は毎回苦労しています。「気楽に写そう」をモットーに、作品は風景・花・ポートレート・スナップと幅広く、最近ではデジタルフォトも加わりました。作風も個性に溢れ、会員各自が色々なコンテストにチャレンジして腕を磨いております。「カメラのキタムラ 第6回春の花フォトコンテスト」で特選を受賞した会員(鈴木誠次郎・写真左端)もおります。カメラのキタムラの浜松/鴨江店は会社に近く、会員をはじめ社員多数がお世話になっており、キタムラ主催の撮影会にも参加者が増えていきます。今後も楽しい企画とホットな情報を期待しております。

上勝町文化協会 写真部

- 設立 1991年4月
- 会員数 16名(代表・新居文市)
- 活動 2か月に1回の定例会
- 場所 徳島県勝浦郡

私たちは60歳以上の若齢者で構成された、山の中の小さなクラブです。しばしば市内より講師をお招きしてご指導をお願いしております。主に町内の行事、四季の草花、棚田、滝などを撮っておりまして、毎年11月に催される文化祭で作品展を行っております。



ペンタックス



ぜいたくな標準レンズ

SMC FA 43mm F1.9リミテッド

この43mmは35mmフィルムの対角線に相当します。数値的には標準レンズの名称にふさわしい焦点距離なのです。マルチコート、ゴーストレスコートを通し、高屈折率ガラスを採用した高品位単焦点レンズです。6群7枚のレンズ構成と8枚の絞り羽根とハイレベルな機構が、シャープで豊かな描写力、柔らかなボケ味を実現してくれます。ちなみに同社内で「コスト無視のぜいたく品」と陰口をいわれているレンズのようです。

●希望小売価格(税別) 69,500円

ポートレートにプロ絶賛の中望遠

プラナーT※ 85mm F1.4

ポートレート、舞台、屋外、室内、夕暮れ、夜間、照明下のスポーツなどF1.4の明るさが撮影の幅を広げてくれます。特にポートレートではすでに高く評価されていますが、この最大の要因はきれいなボケ味にあります。ピントが合焦したところだけでなく、合っていない部分も大切にしている開発指向が如実に現れたレンズです。

●希望小売価格(税別) 109,000円(MM)

京セラ



極端な遠近感の拡張を確保

SP AF14mm F2.8LD アスフェリカル(IF)

超広角レンズでありながらF2.8の明るいレンズで、近接時には中心の被写体を浮き上がらせる独特な表現を可能にしたレンズです。また操作性を優先したフォーカスリングによってAF/MF切替を容易にしています。非球面レンズのメリットを最大限に活用して、諸収差を補正・除去しています。

●希望小売価格(税別) 198,000円

タムロン



フィールドでの携帯性に優れたマクロ

SP AF90mm F2.8マクロ1:1

すでに多くのカメラマンから評価されており、コンパクトなボディでも1:1の等倍機能を有しているのが大きな特長です。高い解像力とシャープネスを持ちながら柔らかなボケ味が楽しめます。幅広いフォーカスリングとAF/MF切替機構を搭載によって、微妙な合焦を必要時に素早く対応できます。F2.8ですから当然、ボケ味を幅広く楽しめます。

●希望小売価格(税別) 68,000円(キャノン用72,000円)

トキナー



抜群のヌケの良さを誇る

AT-X17AF PRO 17mm F3.5 アスフェリカル

今までのレンズで、超広角の世界を楽しもうとした場合、周辺光量が落ちると開放ではシャープさが……といった難が指摘されていても当然とされてきましたが、このレンズは描写性に優れ、絞り開放からシャープな画像を結びます。逆光にも強く、色のヌケが良いのも大きな特長です。

●希望小売価格(税別) 65,500円

ニコン



暗い場所で威力発揮

Ai AFニッコール 85mm F1.4 (IF)

開放がF1.4と明るくバックのボケを幅広くコントロールできることから、ポートレートに特に向いているといえます。一枚の写真のなかで、暗い部分から明るい部分へグラデーションが素晴らしい。絞り値のどこをとってもシャープネス、発色、コントラストなどに優れ、ケタ違いに描写性能が良い。舞台撮影、室内撮影、夜景といった比較的暗い場所での威力は抜群です。

●希望小売価格(税別) 140,000円

ボケ味をコントロール

Ai AF DCニッコール 105mm F2D

Dタイプ(距離エンコーダー内蔵=ボケ味コントロール機能)の中望遠レンズで、前後のボケ味をコントロールが可能です。このボケ味を活かした撮影は、ハイレベルな人ほど重要視されてきます。円形絞りといわゆる多彩な表現が行えます。リアフォーカスの採用により諸収差の少ない鮮明な画像と素早いAF動作を実現しています。

●希望小売価格(税別) 130,000円

ミノルタ



世界唯一の反射望遠鏡

AFレフレックス500mm F8

世界で唯一のAFが可能な反射望遠鏡です。反射光学系の特長を活かして、前長が短く、驚くほどの軽量とコンパクト化が図られていますので、アウトドアでの撮影に抵抗なく持参できるレンズです。特殊なレンズですから、ほかにはないボケ味が得られます。また七万八千円は魅力的な価格です。

●希望小売価格(税別) 78,000円

個性的な描写が得意な単焦点レンズ

レンズは開発者の意図によって個性を持たせることができるといわれています。開発段階で例えば「このレンズはポートレートに適した撮影シーンを想定したい」とした場合、ピントが合焦している部分以外のボケの美しさを追求するとなれば、前ボケ、後ボケの調整まで行うことができます。ズームレンズではこうした開発意図を盛り込むことは非常に難しい。その点、単焦点レンズであれば、目的に合わせた開発が可能です。また、端的にひと昔前まで、一眼レフの標準レンズといえは、50mm F1.2、1.4は当たり前でしたが、標準ズームで50mm F1.2の明るさが欲しいといっても、現段階ではできないのが実情です。このように考えれば、単焦点の持つ魅力はズームでは果たすことができない性能を持ち、個性的な描写ができるレンズともいえるでしょう。



イ
ツ カ マ エ ル
を

「今しかない」一瞬を、7点AFでつかまえる。新しいキス

あの一眼レフのベストセラーが、さらに高度な表現力を身につけて生まれ変わりました。かけがえのない時間を逃すことなくつかまえた。自由なフレーミングで会心の1枚を手に入れた。そんな思いを、7つの測距点をもった新しいKissが優しくかなえます。

- ◎さらに小さく、世界最軽量ボディ*
- ◎測距点を選べる。合焦点が分かる。クラス最高の7点AF
- ◎測距点連動の35分割評価測光
- ◎被写界深度確認ボタンを新搭載
- ◎好評の夜景モードを含む多彩なAEモード
- ◎高度なストロボ撮影が可能なE-TTL自動調光
- ◎新たにワイヤレスリモコン機能を搭載
(別売のリモートコントローラーRC-1 [¥2,500・税別]が必要です)



軽い、簡単、だけどスゴイ。

Canon EOS Kiss III

- メーカー希望小売価格
- EOS Kiss III ボディ……………¥64,000 (税別)
- EF28-80mm F3.5-5.6 VSM付き…¥90,000 (税別)
- セミハードケースEH13-L…¥4,000 (税別)

カメラのキタムラ式写真熱中塾

写ば!
 いよいよ発売開始!

写ば!
 1,300円(消費税別)
 (株)パウハウス発行

このたびカメラのキタムラでは新提案フォトムック「写ば!」を発売いたしました。「どこでも、なんでも撮り歩いてみよう。身近な日常を気軽に撮っていくことで、もっと面白い写真を体験してみよう」というお客様への提案を込めまして、「フォトライフ四季」よりも、ひと味もふた味も違った構成に仕上げしております。片岡義男・椎名誠・星野道雄をはじめ、日比野宏・小林伸一郎・三浦和人・竹内敏信・丹地敏明・宮嶋康彦・内山晟といった多彩で豪華な先生方に、写真はもちろん、文章の執筆もお願いしました。諸先生方の肉声を目にする貴重なチャンスです。「フォトライフ四季」読者の皆さんも、これを機会に時には肩から力を抜いて、新しい写真の世界を楽しませてはいかがでしょうか。全国の書店、あるいはカメラのキタムラでご購入いただけますので、ぜひ一度、お手にとってみてください。



編集後記

今回取材にうかがった大山謙一郎先生は、とにかく写真を楽しんでいらっしゃいます。取材中もコンパクトカメラをこちらに向けてパチリ。楽しい話もたくさんお話を聞きましたが、中でも「よさこい祭り」の話になると目を輝かせながらお話を聞かれます。「よさこい祭り」を心から愛されていることが、私たちにも自然と伝わってきました。いよいよ夏。各地で様々な祭りが開かれます。「祭りという行事を撮るのではなく、祭りという特別な場の人を撮る」とおっしゃる大山先生のお話をうかがい、その作品を拝見していると、なるほど祭りは人物写真の絶好の場なのだということがよくわかります。読者の皆さんも、これを機会に祭りに輝く人たちの写真に挑戦されてはいかがでしょうか。きっと新しい夏の思い出を作ることができると思います。

そして夏はまた、カメラのキタムラの社員一同が心から楽しみにしている、チビッコたちの写真コンテストの季節です。今年から、より一層皆様に愛されることを願ひまして、従来の「チビッコ写真コンテスト」が様変わりいたします。7月中旬には全国のカメラのキタムラ店頭でお伝えできまので、是非ご期待いただきまいたうえ、ふるってご応募いただけるよう、お願い申し上げます。今年の夏もまた、カメラのキタムラは皆さんのフォトライフが充実したものであることを、心から願っております。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

1	2	3	4
A	E		ン
5	ン	6	7
ゲ		7	8
	9		10
11	オ	12	ム
13	ア		ン

- 〈タテのカギ〉
- 顔などに生えている、細く柔かい毛のこと。
 - 沈黙は〇〇。雄弁は銀。
 - 運転中、後方を見るには何を使う?
 - 絵画や彫刻が見られる施設。
 - 肉の焼き方。ウェルダン、ミディアムともうひとつ。
 - 公費に対して個人のお金をこう言います。
 - 上州の土地柄を「〇〇天下とからっ風」と言います。
 - 〇〇に短し、タスキに長し。
 - 我を忘れた状態を「〇〇夢中」と言います。

- 〈ヨコのカギ〉
- 釣り竿と釣り針の間に付いています。
 - ディズニー映画にも出てくる、子鹿のこと。
 - ひとつの物が、いくつかに分かれること。
 - 「シェイク・ハンズ」って何?
 - 犯罪捜査で「〇〇〇の故意」と言います。
 - お笑いのナインティナインは矢部と〇〇〇〇。
 - 夏はやっぱりコレ! テパートの屋上などで営業しています。

答え=〇〇〇〇〇

ヒント: 早く泳ぎに行きたいナ...

問題: クロスワードに答えて、A-Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-4-1
 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
 締め切り: 8月31日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.27) 解答とご当選者

解答:「カガミモチ」
 笠尾幸子(北海道)、荻原邦美(北海道)、藤森友一(北海道)、石坂辰義(北海道)、田頭克美(岩手県)、千葉久実(宮城県)、波辺はるえ(福島県)、井口豊美(新潟県)、河崎裕子(石川県)、坪田秀彦(長野県)、古瀬カヅ子(千葉県)、池田直之(東京都)、富松秀人(神奈川県)、鈴木和子(愛知県)、尾畑昌代(大阪府)、梅田和志(奈良県)、高橋保夫(兵庫県)、竹野顕治(広島県)、木谷孝夫(鳥取県)、神田香実(島根県)、山口陽子(徳島県)、岡かよ(香川県)、近藤和香(高知県)、西村廣(高知県)、歌野原茂(福岡県)、深津利子(福岡県)、井手松巳(佐賀県)、光法真帆(大分県)、浜田みさ子(熊本県)、宮野原浩(宮崎県) 敬称略

お手持ちのレンズや一眼レフカメラを、
高価下取り・買い取り いたします。

詳しくは、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

撮ったら、すぐカード。

フジライン 四季

Vol.29

SUMMER

平成11年6月11日発行 季刊第29号

カメラのキタムラ発行

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-4-1

☎045-476-0777

21世紀インスタントカメラ誕生



instax mini



フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ
メーカー希望小売価格 10,000円(税別)

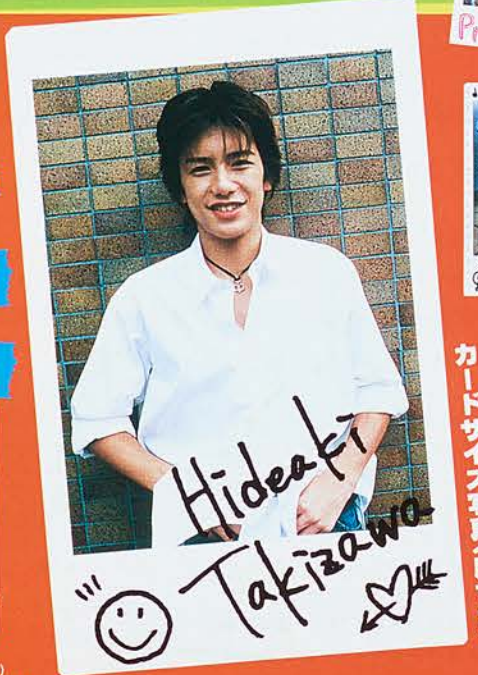
カバンにすっぽり
コンパクトボディ

定額入札にピッタリ
カードサイズ写真

フィルムも安く
チェキ!



インスタックスミニ フィルム
1パック/10枚撮り 700円(税別)
2パック/10枚撮りX2 1,250円(税別)



カードサイズ写真(原寸大)

